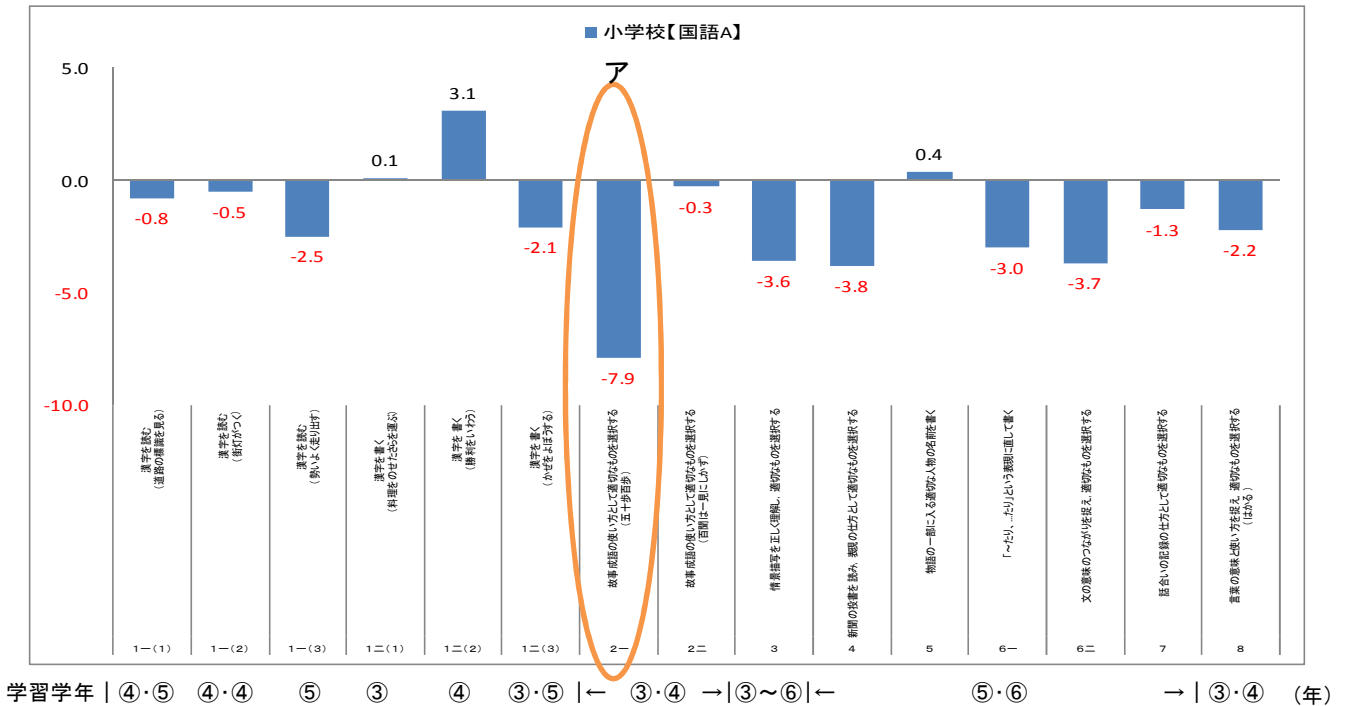


○平成 26 年度全国学力・学習状況調査全国の平均正答率との差による問題分析 【グラフの説明】

設問別の滋賀県の平均正答率を全国の平均正答率と比較し、その差をグラフに表したものです。県の平均正答率が全国より高かったものは上向きに、低かったものは下向きに表され、グラフの長さが差の大小を示しています。全国との比較において、県としてどのような問題に課題が見られるのか、早急に改善しなければならない分野や能力は何かを検討する元となるデータです。

滋賀県 小学校国語 A

設問ごとに全国の平均正答率との差をグラフにしたもの



※○数字は関係する内容を学ぶ学年を示す。漢字は新出学年。

【小学校国語 A 課題の見られた設問ア A2- 故事成語・ことわざ 平均正答率 47.9%】

○故事成語の使い方として適切なものを選択する問題 (「五十歩百歩」)

- ・文の中で故事成語の適切な意味理解ができているかを問う設問です。ことわざや慣用句、故事成語については3, 4年生から習う内容ですが、日常生活の中で積極的に使うことが大切です。
- ・A2二の「百聞は一見にしかず」については、全国との差も小さく、知っている故事成語と知らない故事成語との差があることがわかります。



平成 25 年度の「ことわざ」設問の平均正答率が、70%を越えていたことを見ると、単なる辞書的な意味理解は一定できているものの、文の中など実際の生活場面に即した形で正しく使える言葉の力としては定着していないなあ。

2

次の一と二の故事成語の使い方として最もふさわしいものを、1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

一 「五十歩百歩」

- 1 姉と私は、残りのケーキをどちらが食べるのかでもめていた。すると、母が私たちを注意して、もめごとに関係のない弟に食べさせた。弟にとっては、五十歩百歩だ。
- 2 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗ドッジボール大会での優勝をめざして、ほかの学級よりもずっと前から練習を始めた。だから、優勝できたのは、五十歩百歩だ。
- 3 山口さんと川島さんが、学校で出された宿題を五回忘れたのか、六回忘れたのかで言い争っていた。このようなこと言い争う二人は、五十歩百歩だ。

2

次の一と二のことわざの意味を、1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

一 「石の上にも三年」

- 1 何事もやってみないと、よさが分からないこと。
- 2 あることが得意な人でも、失敗することがあること。
- 3 住み慣れると、そこが一番暮らしやすくなること。
- 4 しんぼう強くやれば、よい結果が得られること。

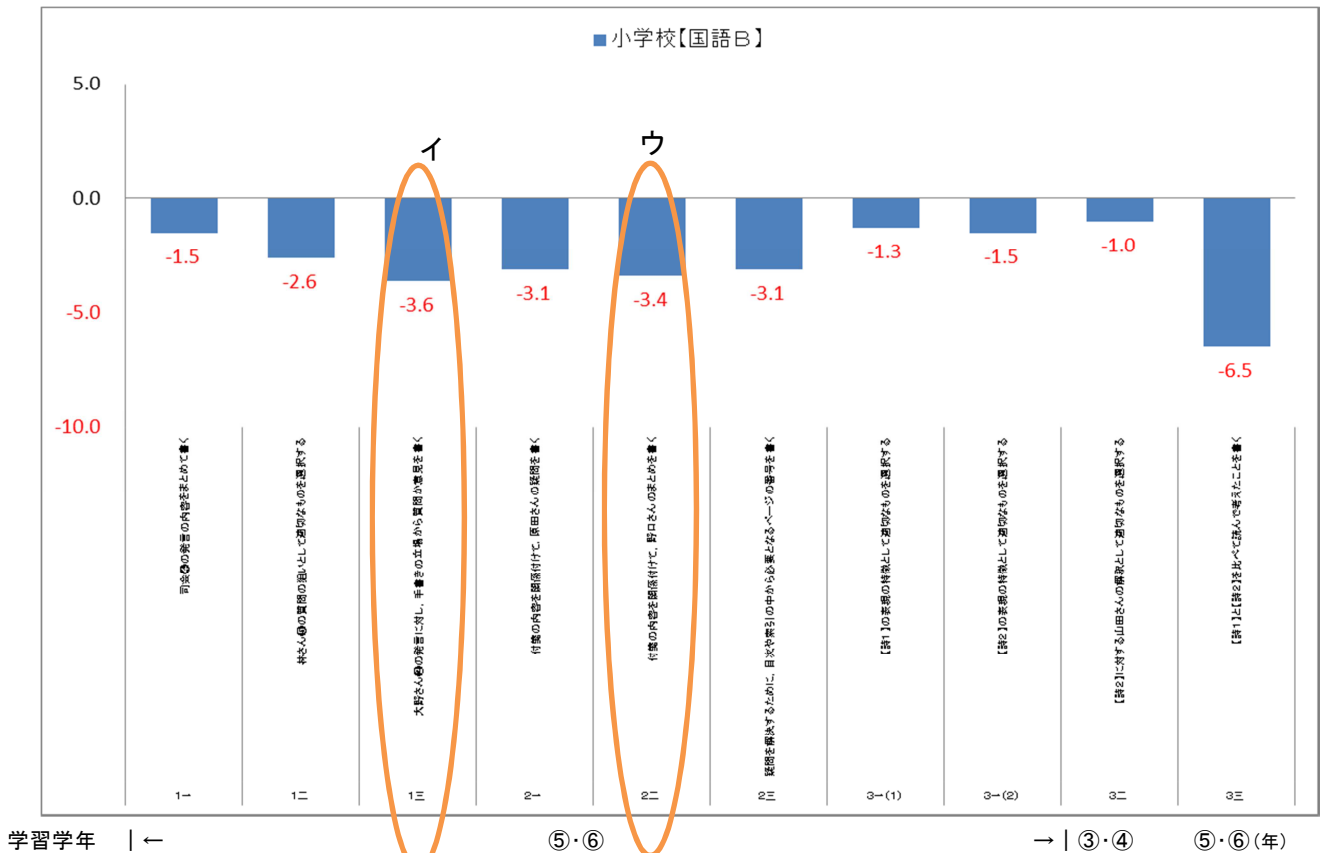
平成 25 年度 A 2-「ことわざ」
 辞書的な意味を問う設問では、
 平均正答率 71.4% (全国 71.1%)
 全国との差 +0.3
 と、まずまずできています。

⇒授業はもちろん普段の生活の中で、積極的に故事成語やことわざを用いることが大切です。
 故事成語等を使って会話したり書いたり、文章に出てくる故事成語等を国語辞典等を使って調べたりすることで、使う機会や学ぶ機会を増やしていくことが大切です。



学校でも、取り立てて指導したり、週や月に何回と決めて取り組ませたりして繰り返して学習していきましょう。

滋賀県 小学校国語B 設問ごとに全国との平均正答率の差をグラフにしたもの



※○数字は関係する内容を学ぶ学年を示す。漢字は新出学年。

【小学校国語B 課題の見られた設問イ B1三 引用して書く 平均正答率 24.7%】

○立場を明確にして、質問や意見を述べる問題

- 相手の発言を引用して質問や意見を述べることを問う問題で、条件に合わせて適切に引用することができているかどうか大切なポイントです。引用することについては、5・6年生で学習する内容です。

平成 25 年度にも、図鑑の一部の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書くことを問う設問があり、平均正答率は、23.7%（全国 26.2%）と低かったなあ。



⇒原文や話の内容を正確に引用することや、引用する部分と自分の考えとの関係を明確にすることが大切です。また、書く際には、引用する部分を「」でくくるとことや引用した文章の出典について明記すること、引用する部分が適切な量になることなどについて、調査問題などの具体的な文例を使って練習してみましょう。

B
1
三

大野
②私もパソコンを使う方がよいと思います。記念に残る卒業文集なので、読みやすくつくるべきだと考えます。手書きだった去年の卒業文集には読みにくいところがありました。パソコンであれば、文字が上手かどうかに関係なく、文字の形や大きさがそろっているので、読みやすくなります。

三 あなたは、「討論会の様子」の中の「イ」のところで、大野さん②の発言に対して、手書きの立場から「質問」か「意見」かどちらかを述べます。解答用紙の□の中に「質問」か「意見」かどちらかを選んで書き、その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 大野さん②の発言中の言葉を、「」を使って引用して書くこと。なお、「」の中に引用する言葉は二十五字以内とする。
- 書き出しの文に続けて、八十字以上、百字以内にとめて書くこと。なお、書き出しの文は字数にふくむ。

◎正答例 (大野さんの発言に対して) 意見(があります)。(パソコンであれば、「文字の形や大きさがそろう」と言いましたが、手書きでも原稿用紙のますに合わせていねいに書けば、読みやすい文集になると思います。

▲誤答例 (大野さんの発言に対して) 意見(があります)。(読みやすさも大事だけど、手書きの字にその人の個性が表れ、もう一度見たときに、学級みんなを思い出し、なつかしむことができると思います)。

- ◎正答例では、大野さんの発言から「文字の形や大きさがそろう」という箇所を25字以内で引用して書いている。
- ▲誤答例では、大野さんの発言内容の「読みやすさ」に対する意見としてはよいが、「」を使って引用ができていない。

【小学校国語B 課題の見られた設問ウ B2二 関係付けて書く】

○分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書く (書くこと・読むこと・記述式)

- ・平均正答率 23.5% (全国 26.9%) 全国との差-3.4 無解答率 9.2% (全国 7.4%)
- ・複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書くことが問われ、「二文を一文にする」「『例えば』を使って書く」という条件にそって適切に書くことができるかどうか大切なポイントです。接続語については、3, 4年生の学習内容です。



平成25年度も同様の設問があり、平均正答率は15.6% (全国17.8%)、全国との差は-2.2 無解答率24.7% (全国20.4%) という結果でした。無解答率は大幅に減少し、粘り強く書こうとしている様子が見えましたが、正答率の差は1ポイント開きました。

指定された条件である「二文を一文にして書く」「『例えば』という言葉を使って書く」にそって書く練習を、次のように具体的に取り組むことが大切です。

⇒「二文を一文にして書く」については、示されている二つの内容を整理し、どんな言葉でつないで表すかを具体的な文例をもとに学習しましょう。

※本設問を使った具体例

すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすこともできます。また、においのちがいで仲間を見つけることもできます。

「また」を、「～たり、…たり」「～や…」「～こと、…こと」などを使って置き換える。

すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがしたり、においのちがいで仲間を見つけたりすることもできます。

誤答傾向①に対する手立て 文と文をつなぐ方法を考え、二文を一文にして書き直す

H26年度 授業アイデア例より

◎文と文をつなぐ方法

方法① 「～たり、…たり」を使ってまとめる。

方法② 「～や」を使ってまとめる。

方法③ 「～も、…も」を使ってまとめる。

方法④ 「～こと、…こと」を使ってまとめる。

■本文
すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすこともできます。また、においのちがいで仲間を見つけることもできます。

■誤答例
× 水場や食べ物をさがすこともできる。また、においのちがいで仲間を見つけることもできる。
× 水場や食べ物をさがすことができる。さらに、においのちがいで仲間を見つけることもできる。

■誤答例について
例一は、本文をそのまま写しており、一文の意味を正しく理解していません。
例二は、接続語を別の接続語に置き換えているだけで、文と文のつながりを理解していません。文と文のつながりを考えてみましょう。

⇒「『例えば』という言葉を使って書く」については、「例えば」の前には結論が、後ろには具体例が、それぞれ挙げられていることをおさえ、具体例を通して学習しましょう。

※本設問を使った具体例

鼻の短い動物の鼻の役目は何かということだ。例えば、カバやブタは、鼻を使って何ができるのか調べたい。

「例えば」の前は「鼻の短い動物の鼻の役目は何か」、後ろは具体例として「カバやブタ」が挙げられていることを踏まえて、与えられた「野口さんのふせん」を書き換える。

においを感じ取ることにすぐれた動物とはどのような動物かということだ。例えば、イヌはどれくらい先においを感じ取るのか調べたい。

誤答傾向②に対する手立て 「例えば」を使って、文と文の関係を整える

H26年度 授業アイデア例より

■正答例
においを感じ取ることにすぐれた動物とはどのような動物かということだ。例えば、イヌは、どれくらい先においを感じ取るのか調べたい。

【原田さんのまとも】の中のカバやブタが、【野口さんのまとも】の中のイヌに相当するんだね。



新たな質問として鼻の短い動物の鼻の役目に注目しているね。その具体的な事例としてカバやブタを取り上げているね。



【原田さんのまとも】の中の「例えば」はどのようなに使われていませうか。

